

令和5年11月2日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

みずさわひがし
国道4号『水沢東バイパス』の開通時期について

国道4号水沢東バイパス（延長9.6km）は、これまで6.9kmにおいて暫定2車線整備が完了しており、残る2.7kmについて令和7年度の暫定2車線開通に向け事業を進めているところです。

事業区間の起点側では、埋蔵文化財の遺跡が想定より広く分布していたため調査範囲が追加となることが判明し、これまでに本発掘調査の範囲を確定しました。令和5年度は、追加範囲の試掘調査に引き続いて本発掘調査を進めております。

この度、確定した範囲に関して関係者で調整した結果、発掘調査期間が最短でも令和6年度まで必要なことが判明し、これらを踏まえ事業工程を再検討したところ、令和7年度開通予定としていた開通時期の見直しが必要な状況となりました。

開通時期については、今後の埋蔵文化財発掘調査の進捗を踏まえて工程を精査し、改めてお知らせいたします。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北建設専門紙記者会>

（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

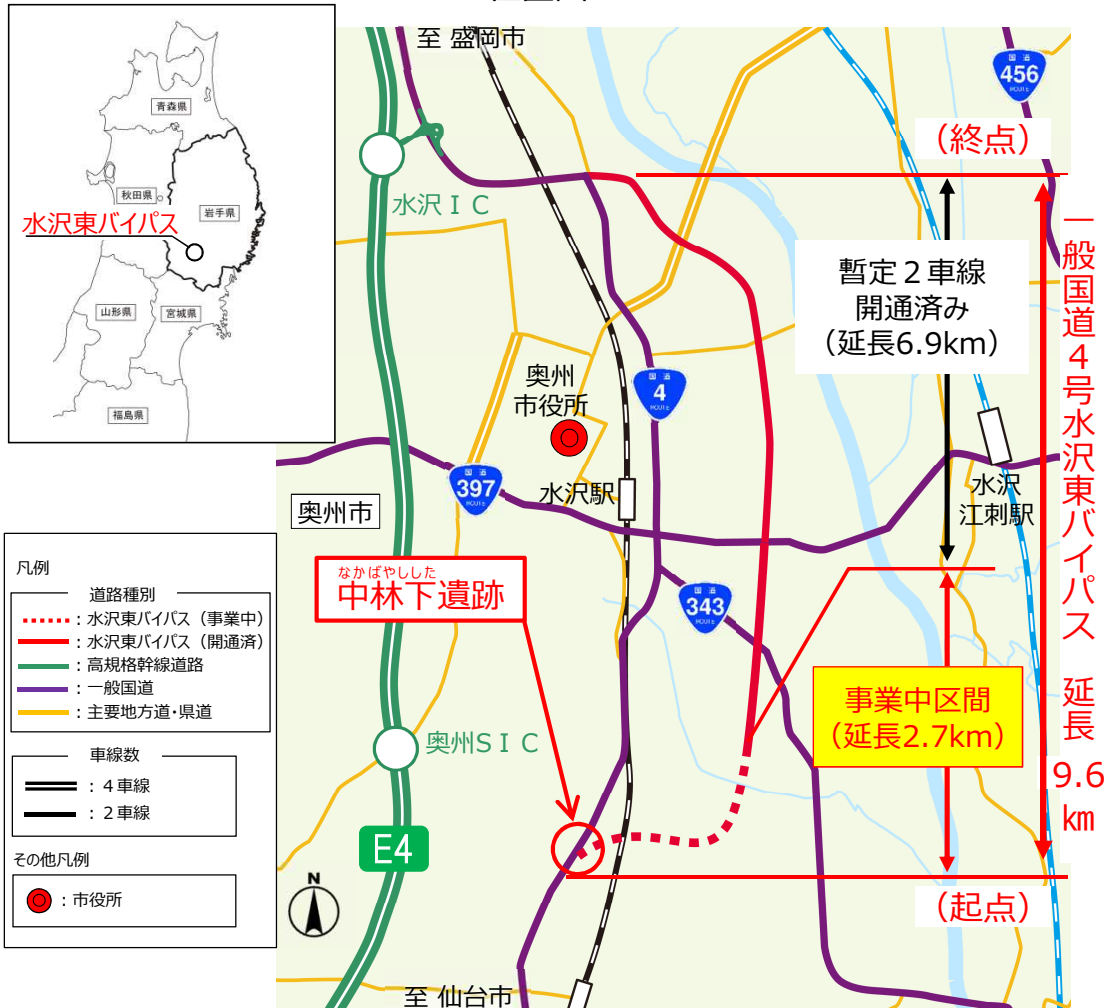
TEL 019-624-3131

副 所 長 菊 地 淳（内線205）

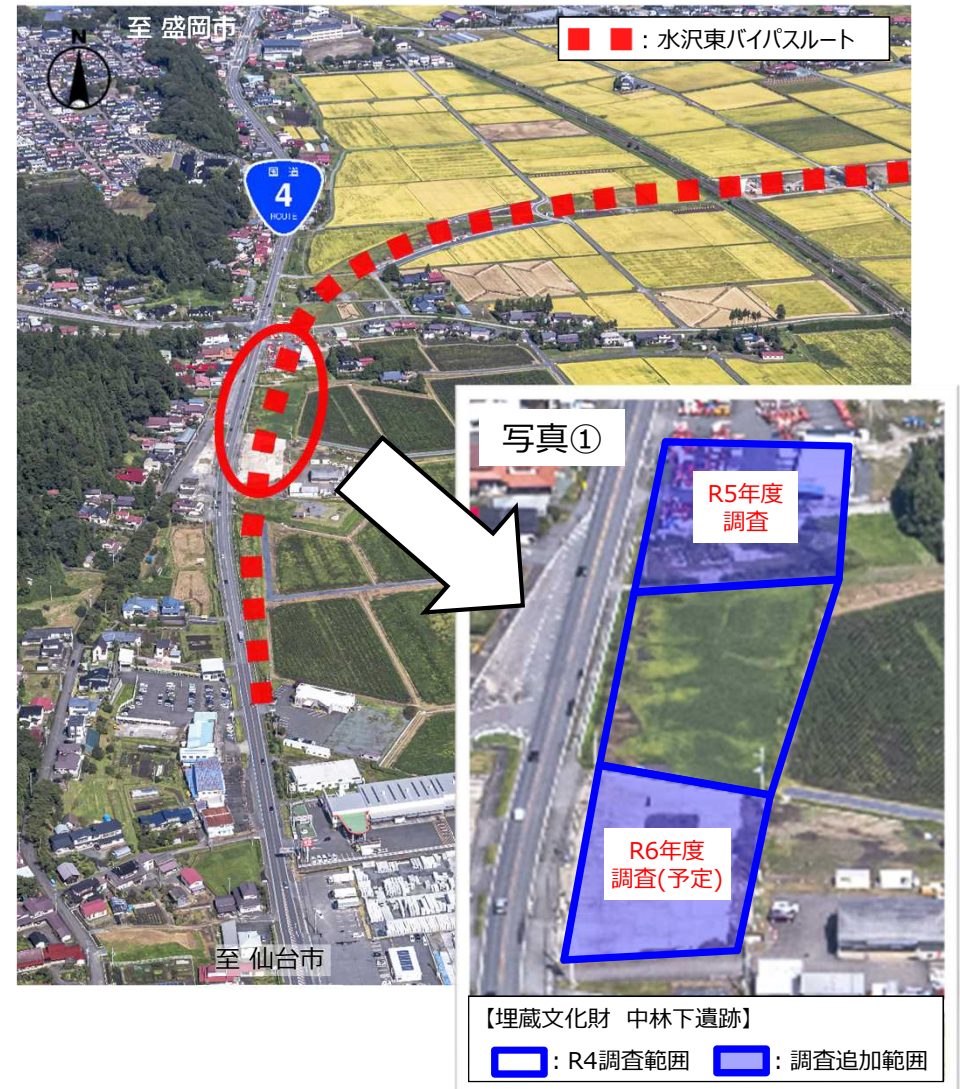
一般国道4号 水沢東バイパス

- ◆水沢東バイパスは、現在までに6.9kmが暫定2車線で開通しており、残る2.7kmについて事業中
- ◆事業区間起点側の「中林下遺跡」では、遺跡の範囲が想定より広く分布していたため調査範囲が追加となり、令和5年度は追加範囲の試掘調査に引き続き、本発掘調査を実施中
- ◆今回、追加範囲の発掘調査期間が最短でも令和6年度まで必要なことが判明

▼位置図



▼空撮 (令和4年9月25日撮影)



一般国道4号 水沢東バイパス 埋蔵文化財発掘調査の状況

出典：(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター R4.7.21 現地公開資料 (一部加筆)

